

ICOCA(イコカ)で利用できるキーレスロッカーを開発 ～ ICOCAが鍵になる。ICOCAで支払える。～

【概要】

この度弊社は、西日本旅客鉄道株式会社様（以下、JR西日本様）の乗車券や定期券、さらには電子マネーとして利用できるICカード「ICOCA」¹をコインロッカーの鍵として、また利用料金も支払うことができる「ICOCA」対応のロッカーを多能式ターミナルロッカー「LTHシリーズ」にラインナップいたしました。

今回開発の多能式ターミナルロッカーは、現金又は「ICOCA」で手軽に利用できます。

施錠は、扉横の仮施錠レバーを押し下げ、集中操作部にて、「ICOCA」あるいは現金で決済することで施錠が完了し、解錠はキーレスで、「ICOCA」または「鍵番号」のいずれかを用いることができ、キーの紛失によるトラブルなども解消できます。

国内のコインロッカーは、約40年前から普及し、現在では全国の駅構内などに約4万台が設置され、手荷物の一時的保管サービスとして無くてはならないものとなっております。

近年JRをはじめとする交通機関においては、「ICOCA」「Suica」²など数多くのICカードが発行され、そのサービスも拡充し、電子マネー機能が使える店舗も急激に増加しております。さらに、多種類のICカードが利用できるサービス展開も始まっています。

今後弊社では、お客様の要望に応じて、各種ICカードに対応した「LTHシリーズ」のバリエーションを拡張させていきます。さらに、従来のコインロッカーの機能を越えた、宅配便の受取や私書箱用途など新たなビジネスへの展開も提唱し、現市場以外にも事業拡大を図ってまいります。

尚、この度「ICOCA」が使えるロッカーをJR西日本様にご採用いただき、本年2月1日より京阪神の6駅（大阪、新大阪、京都、三ノ宮、天王寺、姫路）でサービスが開始される予定です。

1:「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

2:「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

【主な特長】

1. キーレス運用による鍵の紛失を防止

従来の「ロッカーキー」の代わりに用いる鍵として、集中操作部の表示パネルから「ICOCA」¹、「鍵番号」の何れかを選択。「ICOCA」を鍵とする場合は、カード読取部に「ICOCA」をタッチすることで解錠、「鍵番号」を鍵とする場合は、発行された利用証明書に記載された「鍵番号」の数字を集中操作部に表示されるテンキーで入力することで解錠できます。

2. 荷物の受渡しを実現、運用方法が拡張

「鍵番号」を鍵とする場合、「鍵番号」を相手に通知することで、二者間での荷物の受渡しが可能となり、宅配便の受け取りなど新たなビジネスの拡がりも期待できます。

3. 多彩な料金支払方法で、利用者層の拡大

従来、コインロッカーは100円硬貨のみの利用でしたが、街角に設置の各種自動販売機同様500円、100円、50円、10円硬貨³さらには千円紙幣も使え、釣銭も払い出せる機能に加えて、「ICOCA」も使えるため、キャッシュレス化が進む現在、幅広い層にご利用いただける最新の機能を備えています。

4 . 細かな料金設定が可能

「ICOCA」および10円硬貨が使用できることで、時間貸しや時間帯別料金設定など10円単位の細かな価格設定ができ、サービスの幅を広げます。

5 . 親子接続でデータ一元管理を実現

集中操作部を最大6台まで親子接続でき、一箇所で売上集計データを一元管理できることで、管理者は売上集計業務の作業負担を軽減できます。

6 . 多彩な言語表示

集中操作部の画面表示は、日本語、英語、中国語、韓国語、台湾語を選択でき、外国人の方々にも安心してご利用いただけます。

3 : 今回設置の6駅(大阪、新大阪、京都、三ノ宮、天王寺、姫路)においては、「ICOCA」の他、千円紙幣、500・100円硬貨での運用になります。